



## 考えるスタミナ

全国学力・学習状況調査の結果が発表されましたが、その中に「長時間スマホを触っている生徒ほど正答率が低い」という興味深い結果が載っています。また、別の角度からのことですが千葉県教育委員会のホームページで「みんなで学ぼう！情報モラル学習リンク集」のNo.9「無料情報モラルテスト」(中学生版)を開いてみてください。  
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/giga/gigamoral.html> ここにある40問は大人も身につけるべき知識といえます。

さて、夏バテを防ぐため土用の丑の日に鰻を食べようというのは、江戸時代に平賀源内さんが考え出した“広告コピー”ではないかという説があります。確かに毎日ソーメンばかり食べていてはスタミナ不足の心配があります。ところで大学入試・高校入試を乗り切るためにも“スタミナ”がクローズアップされてきています。長年にわたり入試分析をされてきた専門家の話では、共通テストも高校入試もイラストや資料などと参照しながらでなければ解けない問題が増えてきているとのこと。決して問題が難しくなった訳ではないのに平均点が下がっているのは、今までのようなパターンに当てはめる省エネが通じないからだそうです。つまりスタミナを消費する問題が主流になりつつあります。具体的に言えば資料と本文の視線を移しながら考えることが要求され、それに慣れていないと得点できないのです。そもそも文章題の苦手な中学生は文章を目で追って考えることから練習できていないのかもしれませんが。今年の高校入試の数学は順番が変わっただけで難化した訳ではありません。それなのに平均点が下がったのは、これまで塾での勉強も含めてパターンに頼る省エネ学習ばかりをしてきたからではないでしょうか。しかしこれからは集中力を鍛えつつ、その場で考えられるしなやかな地力をつけることもめざしましょう。

「勉強なんて何でしなきゃならないの。」と思っている人へは「これからの人生に必要な、考えるスタミナをつけるため」を答えのひとつにあげておきます。